

## 平成 23 年度 モンゴル国家統計局支援事業の報告

当財団は、モンゴル国家統計局（以下、MNSO）との間で政府統計の分野において交流・協力を行うため、2005年9月に、3ヶ年の協力協定を締結した（協定締結の経緯と詳細については、本誌2005年12月号特集「モンゴル国家統計局支援」を参照されたい）。その後、2009年6月には、期間の延長等を定めた新協定を締結し、2機関間のさらなる交流・協力を約束した。この協定の要旨は、以下のとおりである。

- ① 毎年、1週間程度、MNSO から職員を招聘し国内研修を行うこと。
- ② 毎年、1週間程度、当財団から視察団をモンゴルに派遣し、MNSO 側の要望に沿ったテーマによるセミナーの開催（地方職員がより多く参加できるように、地方開催も検討する）と意見交換等を行うこと。
- ③ 政府統計の分野の進展に関する情報交換を随時行うこと。
- ④ 協力を広げるため、JICA などの政府間プロジェクトの実現を目指すよう努力すること。

なお、本事業は政府間プロジェクト等が実現すれば、その時点で発展的に解消することとしている。本年度は、2011年6月にモンゴル統計セミナーを開催し、10月にMNSO 職員の日本での研修を実施した。

### 第 6 回モンゴル統計セミナーの開催

2011年6月15～22日の1週間、統計セミナーを開催するとともに、視察及び意見交換を行うため、当財団の視察団がモンゴルを訪れた。視察団は、当財団の伊藤理事長、遠藤研究員及び齊藤研究開発第三部長並びに兵庫県立大学学術情報館の周防教授の4名で構成した。

セミナーは、広大なモンゴルで、地方職員の参加を容易にするため、可能な場合には、地方でも開催することとしており、今回は、6月18～19日の2日間、ヘンティ県ダダル郡において開催した。ダダル郡はモンゴル東部に位置し、チンギス・ハーンの生誕の地ともされる水と緑の豊かな地である。

セミナーでは、統計の重要性並びに統計パッケージ SAS の有用性及び統計 GIS による分析の方法に関する講義を行った。

#### 統計セミナーの内容

1. 政府統計及び統計による国民生活の進捗の記述（講師：伊藤彰彦 当財団理事長）
2. SAS の有用性と SAS によるデータ処理・蓄積（講師：周防節雄 兵庫県立大学教授）
3. 地図と GIS 入門（講師：遠藤尚 当財団研究員）

### ダダルでの統計セミナーの様子



さらに、MNSO 副局長より、講義内容が今後のモンゴル国家に必要な不可欠であるため、MNSO の統計担当者及び IT 担当者向けにも講義をしてほしいとの要請を受けたため、急遽ウランバートルの MNSO 本部においても講義を行った。

MNSO 本部での講義では、日本における GIS の利用可能な統計データについての紹介のほか、総務省統計局が行っている e-Stat によるデータの提供状況や「地図で見る統計（統計 GIS）」の内容を紹介した。また、統計地図の

背景データとなる地図データの事例として、国土交通省による国土数値情報と国土地理院による基盤地図情報について説明を行った。

視察団は、このほか、MNSO の統計活動の状況の視察（2010 年人口センサスの概要についてのヒアリングを含む）及び意見交換を行った。また、ヘンティ県統計課においても、統計事情についての説明を受け、意見交換を行った。

#### モンゴル滞在スケジュール

6/15(水)	出発、ウランバートル到着
6/16(木)	メンドサイハン MNSO 局長表敬、MNSO 幹部との打合せ及び意見交換
	モンゴル政府統計の概要説明 当財団主催夕食会
6/17(金)	ウランバートルからヘンティ県ウダルハンへ移動 ヘンティ県統計課訪問
	ウダルハンにて開催の統計職員研修会及び統計功労者表彰式に参加
6/18(土)	ウダルハンからダダルへ移動
	統計セミナー開会 「政府統計及び統計による国民生活の進捗の記述」 (講師：伊藤理事長)
6/19(日)	「SAS の有用性と SAS によるデータ処理・蓄積」 (講師：周防教授)
	「地図と GIS 入門」(講師：遠藤研究員) 統計セミナー閉会
6/20(月)	ダダルからウランバートルへ移動
6/21(火)	MNSO での講義 「日本における GIS 上での統計データ利用環境」 (講師：遠藤研究員)
	「SAS の有用性と SAS によるデータ処理・蓄積」 (講師：周防教授)
	MNSO 統計担当者との打合せ及び PC 室見学
6/22(水)	メンドサイハン MNSO 局長主催送別会 帰国

#### MNSO 統計視察団の来日、国内研修等

2011 年 10 月 19～26 日の 1 週間、MNSO より招聘したガンバット管理部長及びアリアスレーン管理部上級職員に加え、MNSO が旅費及び滞在費を負担して増員したオユンゲレル管理部上級職員、ツェヴェンニヤム管理部職員及びビンデリヤ国際関係協力部職員の計 5 名を迎え、国内研修等を実施した。

当財団における研修では、特に、当財団の開

発した GIS ソフト「G-Census」のデモンストラーション研修において、G-Census の特長である「人口ピラミッドによってその地域の人口構成が分かる」という点に強い関心を示されたようであった。MNSO においても、GIS に対する関心は高く、その導入を進めているとのことだった。特に、モンゴルにおける土地利用の状況を、GIS を利用して明らかにしたいと考えているため、今回、GIS の運用・利活用例を学ぶことができたことは、大変勉強になったとの感想を述べられた。

統計視察団はこのほか、総務省統計局、同政策統括官（統計基準担当）、(独)統計センター、統計資料館、統計研修所、国連アジア太平洋統計研修所の各所を訪問、それぞれ表敬するとともに、視察及び意見交換を行った。

#### 日本滞在スケジュール

10/19(水)	来日、歓迎会
10/20(木)	当財団伊藤理事長、久布白専務理事表敬
	当財団事業概況説明（於 当財団） 講義「地図と GIS 入門」（於 当財団） 当財団小玉会長主催夕食会
10/21(金)	国連アジア太平洋統計研修所訪問（ダバースレン所長表敬） 観光（葛西臨海公園、葛西臨海水族園）
10/22(土)	自由行動
10/23(日)	自由行動
10/24(月)	講義「G-Census の紹介」（於 当財団）
	総務省政策統括官室訪問（伊藤政策統括官、千野統計企画管理官、木村国際統計管理官表敬、統計制度概要説明）
10/25(火)	総務省統計局訪問（福井局長表敬、概要説明） (独)統計センター訪問（戸谷理事長表敬）、視察（調査票保管庫、OCR 室等）
	統計資料館視察 統計研修所訪問（川崎所長表敬、概要説明）
	送別会
10/26(水)	帰国

本事業においては、日本の関係諸機関に多大なご協力を賜りましたことを、ここに深く感謝申し上げます。